

田原 桂一 「光と戯れながら」

Part3 ～聖夜のヴィーナスたち～

会期: 2022年12月9日(金) - 12月25日(日)

RECEPTION: 12/9(金)、12/24(土) 各日程 17:00~20:00 ※予約不要



折り 1996-1999, 石灰岩に印画、金箔, 40×28.5cm

ARTIST STATEMENT

彼がパリで出逢い、惹かれ、
魅せられてしまった
高貴なトルソーたちが、
"今" 聖夜のヴィーナスとして甦り
京都の地に舞い降りる

このたび AMMON KYOTO では、2022年12月9日(金)より京都府生まれの写真家、田原桂一の個展を開催いたします。

本展は「光と戯れながら」を共通テーマに、トルソーシリーズの Part1、ポラロイドシリーズの Part2 に続き、シリーズ第三弾として開催いたします。

Part3 は「～聖夜のヴィーナスたち～」と題し、ルーブル美術館をはじめとするヨーロッパの彫刻を撮影し、石に焼き付けたトルソーシリーズや布作品を中心に展示を構成いたします。

生前「光をつかみ取りたい」と語った田原氏による、物質を通して光の記憶を探る試みを、聖夜をイメージした空間とともに楽しみください。

また、今回は初日に加えてクリスマスイブにもレセプションパーティーを予定しております。皆様のご来廊を心よりお待ちしております。

PROFILE

田原 桂一 | 写真家

1971年に渡仏。そこで出会った日本の柔らかい光とは違う、ヨーロッパの刺すような鋭い光の衝撃を受け、写真家として活動を始める。以降、2006年までパリを拠点とし、光をテーマに写真、彫刻、インスタレーション、建築と幅広く活躍。

1977年に「窓」シリーズでアルル国際写真フェスティバル大賞を受賞、一躍世界的な脚光を浴び、日本、ヨーロッパにて数多くの展覧会を開く。以後、木村伊兵衛賞、ニエプス賞、フランス芸術文化勲章シュバリエ、パリ市芸術大賞など数々の受賞を重ねる。また、カルティエ、ドン・ペリニヨンなど世界的ブランドの日本人初のブランディングコンサルタントとして様々な広告、企画を手掛ける。

2004年、東京都庭園美術館にて「田原桂一 光の彫刻展」を開催。未だに語り継がれる。

2017年、プラハ国立美術館にて、シリーズ「Photosynthesis1978-1980」の世界初となる大規模な展覧会が開催された。

INFORMATION

田原 桂一「光と戯れながら」

Part3 ～聖夜のウィーン人たち～

会場：AMMON KYOTO

会期: 2022年12月9日(金) - 12月25日(日)

RECEPTION: 12/9(金)、12/24(土) 各日程 17:00~20:00 ※予約不要

営業時間：11:00~19:00

無休

〒604-8004 京都市中京区三条通河原町東入中島町 87

Tel /Fax: 075-366-4400

Mail: info@ammon.co.jp

Website: <http://www.ammon.co.jp/>

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

